

## ①デザインコンセプト



まだまだ灼熱の9月上旬。  
厳しい季節の道路空間活用に挑戦！

- ・ 灼熱の道路上に「動くオアシス」を創作（空間・時間・用途）
- ・ 移動だけでなく滞留を促す「くつろぎ」道路空間に
- ・ 既存の道路インフラもダイナミックに活用・転用
- ・ まず自分たち自身がくつろぎ、そして地域を巻き込む「セルフ社会実験」

を実現しよう！

# ①当日の感想（良かった点）

- ・現場で試行錯誤しながら、想像以上の空間を創ることができた＆たのしかった
- ・自分たちの想像以上に、たくさんの方が滞在して下さった

## くつろぐ

・通りすがりの人がふらりと立ち寄り、おしゃべりをしたり、WSに参加してもらったり、子供から大人まで、それぞれの“つろぎ”時間が流れていた

・自分たちもくつろぎながら、のんびりとした時間が過ごせた

・日陰作りは夏は必須



## 動くオアシス

・景観を統一し、「オアシス感」創出成功

・パラソル+ドーナツテーブルはいつでも動かせる状態だったので、日差しをさえぎりながら移動し、臨機応変に空間作りができた

・手作りしたドーナツテーブルに愛着湧く



## セルフ社会実験

・まず「じぶんたちがくつろぐ」ことを大事にし、その上で通行者や沿道事業者を巻き込む社会実験スタイルの実現

・王冠は何気にアイキャッチになり、ふらりと興味を持って参加してくれた。また女の子はリピーターになってくれたことが予想外の出来ことで嬉しかった

・当日の気象条件（天候、気温、日射）などに臨機応変に対応した実験を実現

・通行者や沿道事業者とのダイナミックな出逢いによる、思いがけない即興性ある取組の展開（ガイトウスタンドの設置位置の改善）



## ②当日の感想（反省点・改善点）

- ・商店街全体（歩道の活用など）を巻き込める空間づくり
- ・気候変動（昼の直射日光、夕方のゲリラ豪雨など）に対応した空間づくり
- ・童画館通り商店街の魅力をもっと表現してみたかった  
※商店街の方との対話や時間不足?! 自分たちの稼働時間とのバランス



パラソルのスタンドの強度が弱く、  
風に吹かれて倒れてしまい、  
使用頻度も低くなってしまった



強烈な日射にさらされつつ、  
時間帯に応じてパラソルや人工芝の位置を  
柔軟に移動しながらプログラムを続行



日没間際になると黒い雲が出現。  
いつ雨が降りだすかとひやひやしながら  
プログラムを実施

### ③童画館通りの今後の展望

※今後、童画館通りがどのような場所になると良いか

I氏

T氏

・駅からのアクセスも良いので、多くの方が気軽にふらっと立ち寄れる場所になってほしい。

花や緑など、植栽がもう少し整えばより綺麗な印象になり、魅力を感じる外観になるのではないかと。駅から降りた方が最初に通る商店街として、これからも発展して行ってほしい。

S氏

・駅⇨市街地の通過場所ではなく、童画館通り自体が目的地になってほしい  
・立ち寄れる、身近な印象のある場所に！

（例）夜間等を歩行者天国にし、飲食やワークショップを広々と楽しめる日を作る！  
→駅が近いので、市外在住の方も気軽に参加（飲酒も）しやすい！？

Y氏

・新しいシーンが生まれる場所へ！

今回のPDLにあたって、商店街の皆様からのたくさんの協力・支援に感謝。

これからも、みんなの「こんなことをやってみたい」をあたたく受けとめ、岡谷の中で、新しいシーンが生まれる1丁目1番地であってほしい。

新しい挑戦をすることができる場所にこそ、人や熱意（ゆくゆくは投資も）が集まってくる。

H氏

・毎月第2土曜日は、PDL！

・ロングテーブルやりたい

・滞在したくなる を自分コト化して考えてみた時、どんな空間があったらいいのか。商店街の方と今回の感想を含めて話をしてみたい

・誰もが安全に過ごせるとは。木など、日陰を作ってくれるモノが、お世話が大変なので排除されていくのではなく、それを何か仕組みが化できたら、と思う

## ④パークデザインラボ全体を通して感じた事

I氏

T氏

- ・何も考えずに通行していた場所を、皆が滞在したくなる場所に変えることは、メンバーからの提案やたくさんの知恵が必要不可欠でした。
- ・普通に生活していたら出会えない方たちと出会えて、一緒に何かを築き上げる過程が新鮮で楽しかったです。クリエイティブな思考がなかなかできず苦労しましたが、多くの学びがあり、いい経験になりました。

S氏

- ・普段の職場とは異なるコミュニティでの活動はとても新鮮でした。出るアイデアは斬新なものばかりで、大変刺激になりました！
- ・商店街に面した道路空間をうまく活用できなかった。長時間滞在を目的とするには、狭幅は大きな課題だったように思います。
- ・「自分たちが快適に過ごす点」と「周りを巻き込んで楽しむ点」のバランスの取り方は難しかった。結果的にはどちらも充実して過ごすことができ、良い経験になりました。

Y氏

たくさんの制度的制約や環境的制約が重なり合うのが公共空間。PDLを通じてそのリアルに触れ、ひとつひとつ障壁をクリアしながら空間づくりに挑戦したことの達成感は大きかった。

短期的・仮設的な空間づくりから、より長期的・本設的なまちづくりへの進化も重要。そのためのマネジメントデザイン（人材、収益創出、維持管理）にも、ぜひ今後チャレンジしてみたい！

H氏

- ・ふるさとの活動に関われて楽しかった
- ・念願のドーナツテーブルが制作できて嬉しく、今後個人的ワークでも活用したい
- ・空間作りで、守るべきルールとの境界線が悩ましかったが学びになった
- ・直接商店街の方ともっと会話ができれば。関係性が深まってよかったかもしれないが、場作りでもなく、1日限りの空間作りなので納得
- ・今まで3回行った結果、今後どのような展開を考えられているのか知りたい

商店街の皆さま  
運営の皆さま  
ご対応に感謝ばかりです！  
ありがとうございました！

